

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和5年度)

調査表

施設名	宮崎県福祉総合センター及び県立母子・父子福祉センター
指定管理者	(株)文化コーポレーション
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 福祉保健課

1 施設利用状況

指 標	R5	R4	R3	増減理由等
会場利用状況(人)	49,066	28,387	25,838	会場利用者は新型コロナウイルス感染症の5類移行により令和5年度は前年度比72.8%増と回復している。 (※コロナ禍前は毎年8万人程度)
会場利用状況(回)	2,932	2,766	2,900	
交通遊園利用状況(人)	6,988	7,685	7,822	
交通指導状況(団体)	17	20	19	
交通指導状況(人)	718	851	811	
コメント	今後も、自主事業開催や施設のPR活動による利用者数の増加を図る必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R5	R4	R3	支 出	R5	R4	R3
指定管理料	55,250	54,950	54,650	人件費	10,537	10,193	9,408
雑収入	56	40	30	光熱水費	13,796	13,037	10,690
				委託費	20,538	20,260	20,209
				雑費	6,023	6,318	5,518
				本社管理費	8,644	8,595	7,860
合計(①)	55,306	54,990	54,680	合計(②)	59,538	58,403	53,685
収支差額(①-②)	-4,232	-3,413	995				
コメント	燃料・物価高騰により光熱水費等の費用が増加しているが、施設の老朽化による修繕も適切に行われており、施設運営については支障なく実施されている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和5年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、ガラス清掃(年2回)、床ワックス・カーペット清掃(年1回)、建物外周辺等清掃(週3回)
	保守・点検	冷暖房設備、エレベーター、自家発電設備、電気通信設備、汚水ポンプ、自動扉、消防設備
	警 備	夜間常駐警備、機械常駐警備
	修 繕	樹木・ワシントニアパーム剪定、非常灯・誘導灯バッテリー交換、自動ドア開閉装置取替工事
	備品等管理	備品台帳点検、備品管理
	安全対策	事故・緊急事態対応マニュアルによる教育、施設内日常巡回、施設遊具安全点検、自衛消防訓練
	その他	草刈、花壇整備
企画運営業務	サービス提供体制整備	各会議室の先行予約実施、児童交通遊園を利用した交通安全指導の実施。
	イベント等ソフト面充実	自主企画事業(ヨガ・フラ・アロマ・骨盤教室)等の実施、児童交通遊園での交通安全教室の実施
	施設設備等ハード面充実	本館屋内消火栓用の非常用発電機の更新
	その他	入居団体事務局長会議の実施
管理運営体制	風礼による業務連絡等情報の共有化	
コメント	協定書に基づき適正な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート等の実施
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
屋根付き駐車場の雨漏れ、児童交通遊園の白線引き直し等	改善要望後、修繕を実施した。
児童交通遊園の木が大きくなりすぎているものが多い。	職員の定期確認で腐り始めている木を複数本伐採した。

5 総合評価

評価コメント	庁舎の清掃・保守点検等の維持管理業務や会議室の予約運営・自主事業の企画運営業務は確実に実行されており、利用者満足度調査における結果も良好であり、必要な管理運営体制のもと、協定書に基づき、概ね適正に管理運営が行われている。
今後の課題と対応	福祉目的の施設であることから、徹底した安全管理対策を行うとともに、自主企画事業の充実を図る。また、新型コロナによる制限もなくなったことから今後さらに利用促進に向けてのPRを行い、利用者の増加を図る必要がある。